

将来ビジョン及び必要な取組・事業

提案主体名	ニセコ町	※複数主体の連名の場合は「、」で区切って記入してください。				
提案プロジェクト名	環境国際リゾート地・ニセコにおけるゼロカーボン・シティの創造	※同一主体で複数の提案をする際は別名称としてください。				
都道府県名	北海道	※複数の都道府県にわたる場合は「、」で区切って記入してください。				
対象地域 市町村名	ニセコ町	※複数の市町村にわたる場合は「、」で区切って記入してください。 ※特定の地区を想定している場合は、それも合わせて記入してください。				
① 関連する分野	環境（①地域にある再生可能エネルギー、②北国ならではの省エネ型（ハード・技術）の整備、③ニセコ地域ならではの省エネ型ライフ＆ツアースタイルの実現） 超高齢化（①クリニック・サービス（定期検診と観光や食、温泉と連動した健康指導等）の提供、②アジア最大のコホート医学研究フィールドを樹立、③医療関係者ネットワークの構築） その他（ソーシャルコミュニティ構築）	※国際連携・国際化に関する事項は、分野ではないため、「その他」欄に記載しないでください。				
② 将来ビジョン（環境価値、社会的価値、経済的価値の創造に関する総合的な目標（2050年を見据えた上での2020年、2030年の姿））	※本欄には1000文字以内の要約を記載願います。詳細資料は参考資料(様式自由)として添付してください。					
<p>ニセコ町における「環境未来都市」は、『地球環境に優しく、地域の資源（自然環境（エネルギー等）、観光リゾート、農業）だけでも十分に豊かな収入や雇用があり、さらにコミュニティが支えあう安心できる生活が可能な誰もが暮らしたいまち』をイメージする。そのため、「地域環境」の変革、「経済」の改革、「人の暮らし方」の改革を行う。地球環境に優しい「ゼロカーボンシステム」を構築し、合わせて地域の資源を活用した「メディカルツーリズムシステム」による医療を軸とした国内外の観光客と住民へのサービスを提供し、それらの運営を地域コミュニティがソーシャルビジネスとして展開することを同時並行かつ段階的に取り組むプログラムで実現する。2020年度までに化石燃料非依存型社会構造への転換を試み、CO₂(1990年比)の30%を削減するために「ゼロカーボンモデル」地域を設定し、実証すると同時に、外国人高齢者医療観光客を5万人程度来訪できる環境整備を行い、それらに連動した地域コミュニティビジネス化を図る。2030年度までに、CO₂(1990年比)の50%を削減するために観光施設を中心とした主要施設のゼロカーボン・プラスエネルギー施設化を進め、主要施設のゼロカーボン化と余剰エネルギー源供用システムを確立すると同時に、環境重視型癒し空間を創造し、高齢者医療のグローバル化を進め、年間15万人が来訪できる国際メディカルタウンの創造を目指す。さらに、国・地域の垣根を越えたソーシャルビジネスへ向け体制を整える。2050年度までにCO₂(1990年比)の87%を削減するために地域全体のゼロカーボン化を達成し、産業構造を環境型へ転換する。環境型生活空間へと転換し、環境産業を中心とした環境型国際メディカル観光都市に変貌させる。その結果、『地球環境に優しく、地域の資源（自然エネルギー、観光リゾート、農業）だけでも十分に豊かな収入や雇用があり、さらにコミュニティが支えあう安心できる生活が可能な誰もが暮らしたいまち』が創造される。</p>						
③ 将来ビジョン（②に記載した目標の実現のための取組の基本的な考え方）	※本欄には1000文字以内の要約を記載願います。詳細資料は参考資料(様式自由)として添付してください。					
<p>ニセコ町においては、その「環境未来都市」の将来ビジョン（環境国際リゾート地・ニセコにおけるゼロカーボンシティの創造）の実現に向けて、環境・社会・経済といった3つの価値を等しく大事なものとして位置付け、「教育」を基礎とした推進プログラムに基づき、我が国を始めとする経済偏重型地域づくりのパラダイムをシフトさせるためのモデルを提示する。①（環境価値×教育）『地域自らが作り出せるエネルギー総量内で共用できるシステム』を構築し、自然に逆らわない生活スタイルへ移行し、自然力を有効に活用するプラス思考型社会に転換する。再生可能エネルギーによる企業教育など、超省エネ環境体質へ地域を教育によって変革する。②（社会的価値×教育）『情報共有と住民参加により育まれた相互扶助の精神に基づく地域コミュニティの段階的創造』を軸に、破壊構築型社会形成から脱却し、現状の課題・問題点をアクセプトし、未来志向型社会形成へと思考を転換させる。超高齢化という現実をアクセプトしつつ、メディカル分野や教育分野、環境分野でのコミュニティを醸成させ、ソーシャルサービスの展開とビジネス化を図る。特にソーシャルビジネスの3要素である、「社会性」「事業性」「革新性」のうち、「革新性」に焦点をあて、既存概念からの規制を見直し、オープンイノベーションを展開する。③（経済的価値の関連分野×教育）『経済的価値創出にむけては、「ゼロカーボン」と「メディカルツーリズム」の段階的構築』を進めるために、最新技術研究機関を誘致し、それに伴う新たな地域特有の産業創出を目指し、雇用創出にもつなげていく。また、企業化教育に力点を置き、多様な展示（常設、特別、国際）の場の提供、多様な会議の場の提供、イベントの場の提供に取り組み、企業化を促進させる。特に、ソーシャルビジネスの産業化を目指し、循環型社会構造への転換を進め、地域における自給エネルギー構造を生み出すための資源及び産業の発掘を優先して行う。これら3つの取り組みによって、地域資源による循環型社会を形成し、地域のパラダイムチェンジを進め、サステナビリティ社会へ転換していく。</p>						
④ 将来ビジョンの実現のために5年以内に必要となる具体的な取組・事業（技術・システム、サービス、仕組み等）	※本欄には1000文字以内の要約を記載願います。詳細資料は参考資料(様式自由)として添付してください。					
番号	取組・事業の名称 ※異なる名称を付けてください。	取組・事業の概要 ※500文字以内の要約を記載願います。詳細資料は参考資料(様式自由)として添付してください。	取組・事業の期間	実施主体・運営主体 ※複数主体の連名の場合は「、」で区切って記入するとともに、それぞれの役割を（ ）内に記入してください。	価値、分野の種類	国の支援の必要性 ※必要性がある場合、「○」を記入してください。
(1)	地中熱ヒートポンプの導入	観光宿泊施設や観光事業者、公共施設に導入し、冷暖房に活用する。	3年以内に開始	民間事業者（施設整備）・行政（施設整備・支援）	環境的価値	○
(2)	地中熱研究機関の誘致	地中熱ヒートポンプの技術をさらに深化させるための研究施設を誘致する。	5年以内に誘致	ニセコ町	環境的価値	○
(3)	寒冷地型太陽光発電や水力発電の導入	ニセコ地域に豊富な河川や湧水を利用した水力発電や効率的な太陽光発電を導入し、地中熱ヒートポンプで利用する電源の確保を行う。また寒冷地で行うため、追従型等の効率性の高い発電施設を開発する。	1年以内に導入し、随時拡大	民間事業者（施設整備）・行政（施設整備・支援）	環境的価値	○
(4)	再生利用可能エネルギーの導入	再生可能エネルギーの導入。地域に未利用なエネルギーを利用可能なエネルギーへ転換させるため、雪氷や地熱、木質バイオ、畜産系バイオ、排熱などの自然エネルギーを活用したプログラムの導入と、実証実験に取り組む。	3年以内に開始	ニセコ町	環境的価値	○
(5)	プラスエネルギー住宅の建設促進	寒冷地における高気密化住宅をさらに深化させるため、寒冷地特有の消費エネルギーの研究及びエネルギー創出研究を行い、高度な低エネルギー・プラスエネルギー構造の寒冷地対応住宅の建設を促進する。	3年以内に開始	研究機関（高度化住宅の研究開発）、ニセコ町（研究への支援と建設の促進）	環境的価値	○
(6)	ゼロカーボン推進条例の制定	主要観光施設でのゼロカーボン化を推進する条例を制定する。	5年以内に制定	ニセコ町	環境的価値	○
(7)	地球温暖化防止条例の制定	大規模事業者へ向けて、温室効果ガスの排出規制等を設定すると同時に、エネルギープラス効果による温暖化防止を啓蒙する。	5年以内に制定	ニセコ町	環境的価値	○
(8)	環境配慮ランク認定制度の導入	大規模観光事業者に対する環境配慮ランクを導入し、環境競争社会を育成し、環境の平準化を進める。	5年以内に導入	民間認定事業者	環境的価値	○
(9)	リゾート環境高齢化特区	環境に優しいリゾート地で国内外の高齢者に対する医療提供を行う。研修医として来日していた外国人医師の医療行為を認める構造改革	5年以内に着手	ニセコ町（特区・支援）、医療機関（病院建設等）	社会的価値	○
(10)	交流深化型プログラム	高齢者と地域住民、外国人が垣根を越えて交流するプログラムを開発し、提供する。	3年以内に実施開始	民間事業者	社会的価値	○
(11)	ソーシャルビジネス創造事業	地域にあるソーシャルサービスの発掘及びビジネス化を図る。特に観光を軸としたソーシャルビジネス化を推進。	3年以内に開始	ニセコ町（支援）、民間事業者（起業）	経済的価値	○
⑤ ④に記載した技術・システム等をインテグレートして実現するイノベーションの内容	※本欄には1000文字以内の要約を記載願います。詳細資料は参考資料(様式自由)として添付してください。					
<p>本構想における基本コンセプトは「環境」「社会」「経済」の融合型都市形成を目指すことである。環境分野では、自然（再生可能）エネルギーの活用として、①地中熱エネルギーの既存利用技術（発電、暖房等）を、多様な規模・用途の施設で活用できるようにする（地中熱ヒートポンプの導入、地中熱研究機関の誘致）、②太陽光・水力エネルギーの既存利用技術（発電等）を、寒冷地・小河川などでも展開し、多様な規模・用途の施設で活用できるようにする（寒冷地型太陽光発電や水力発電の導入）、③木質バイオマスエネルギーの既存利用技術（暖房等）を、癒し空間創出とマッチングさせる。④自然（再生可能）エネルギーにより個別に発電された電力を、地域内ネットワーク（小規模スマートグリッド）や蓄電システムで共有できるようにする。また、新たなライフスタイルの構築として、①寒冷地における高気密高断熱住宅（北方型住宅）を、ニセコ町の地産地消政策やエネルギー政策と合致するよう、自然エネルギー（太陽光、地中熱等）の導入やエネルギー消費量の抑制に関する実証研究を行い、ニセコ型住宅（プラスエネルギー住宅）を確立するとともにその建設を促進する（プラスエネルギー住宅の建設促進）、②アジア・ロシアの寒冷地における住宅への適用に関する実証実験建設を促進する、③ニセコ町における新たなライフスタイル（地域にあるエネルギーで暮らす）を確立するため、これまでのまちづくり条例の実績を踏まえながら、ゼロカーボン化の推進、地球温暖化の防止、環境への配慮に関する条例を制定する（ゼロカーボン推進条例の制定、地球温暖化防止条例の制定、環境配慮ランク認定制度の導入）。社会分野では、①エコ・ソーシャルサービスとして環境にやさしいリゾート地において外国人、高齢者向けの医療提供を行う。研修医として来日していた外国人医師の医療行為を認める構造改革を進める（リゾート環境高齢化特区）、②クリニック・ソーシャルサービスとして、高齢者と地域住民、外国人が垣根を越えて交流するプログラムを開発し、提供する（交流深化型プログラム）。経済分野では、ソーシャルビジネスとして、地域にあるソーシャルサービスの発掘及びビジネス化を図る。特に観光を軸としたソーシャルビジネス化を推進する（ソーシャルビジネス創造事業）。超環境型地域社会を基盤に、リゾート地の強みを最大限に生かした『人の暮らし』や『人間としての生き方』をイノベーションしていく。</p>						